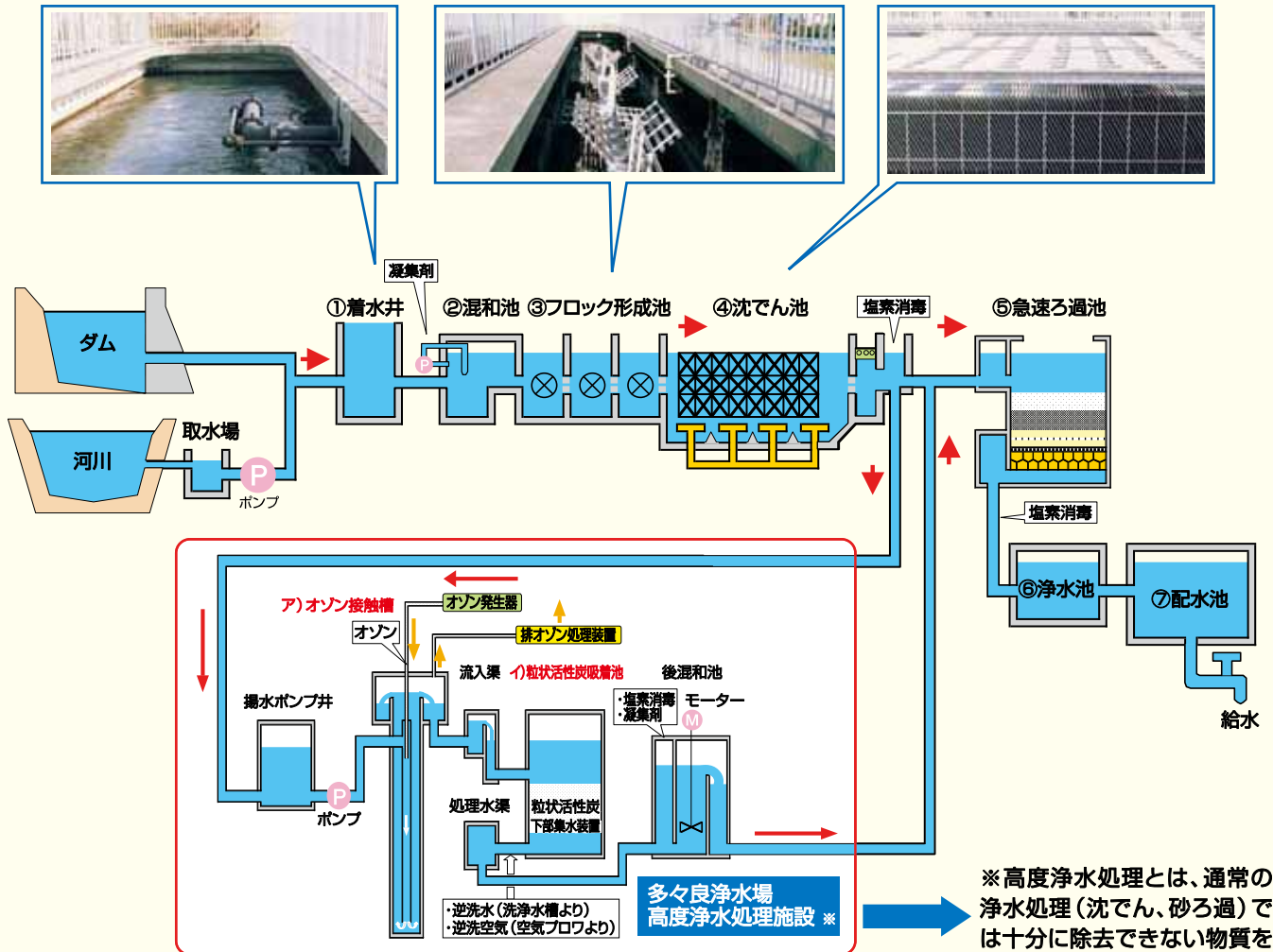


# 浄水場のしくみ



※高度浄水処理とは、通常の浄水処理（沈でん、砂ろ過）では十分に除去できない物質を処理するために、追加する処理をいいます。多々良浄水場では、水源の河川水に有機物が多くかび臭の発生もあり、将来的にも水質改善が期待できないため、高度浄水処理を導入しました。その結果、トリハロメタン、異臭味成分（かび臭物質等）の量や浄水場で使用する消毒剤等の薬品の量を減らすことができ、より安全で良質な水道水の供給が可能になりました。

- ①着水井 浄水場に入ってきた水（原水）の水位の調整やにごりの様子を調べます。
- ②混和池 小さなゴミや砂を沈みやすくするため、原水に凝集剤を入れます。
- ③フロック形成池 凝集剤をゆっくり混ぜ合わせフロックというかたまりをつくります。
- ④沈でん池 フロックを沈めて、うわずみの水をろ過池に送ります。
- ア) オゾン接触槽 オゾンの酸化力によって異臭味除去や、有機物を酸化分解するオゾン処理を行います。
- イ) 粒状活性炭吸着池 通常の浄水処理では除去できない水溶性有機物を活性炭を用いて吸着除去します。
- ⑤急速ろ過池 沈でん池で取り除けなかった小さなゴミやフロックをすべて取り除きます。
- ⑥浄水池 水に塩素を入れて消毒し、配水池や配水場へ送られるように貯めておきます。
- ⑦配水池 浄水池からきたきれいな水はここに貯められ、家庭や学校などに配水されます。

